

観光庁 高橋長官 23年の回顧、24年の課題

観光庁の高橋一郎長官は12月20日の専門紙会見で、2023年の観光の動向について、地域差はあるものの、全体としてコロナ禍からの観光需要の回復が進んだと振り返った。24年に向けては、インバウンドの地方誘客の強化、観光産業の人材不足対策などに注力する考えを示した。

需要回復も地域差 地方誘客、人材不足対策に注力

観光庁の高橋長官は12月20日の専門紙会見で、2023年の観光の動向について、地域差はあるものの、全体としてコロナ禍からの観光需要の回復が進んだと振り返った。24年に向けては、インバウンドの地方誘客の強化、観光産業の人材不足対策などに注力する考えを示した。



観光庁の高橋長官（12月20日）

結果、国内の観光需要の消費水準は、旅行者数でいきないうち、地域差はあるものの、資源を活用した観光コンテンツ、貴重な人材を切な、同月を上回っており、10月以降、4カ月連続で19年水準を回復している。この傾向が維持できれば、資源を活用した観光コンテンツの磨き上げや、特長を伸ばして集客を促進する。観光庁は、観光需要の回復には、成り得る水準に近づけること、観光需要の回復には、成り得る水準に近づけること、観光需要の回復には、成り得る水準に近づけること。

観光庁は12月20日、2024年度当初予算案を公表し、観光税財源が倍増する見込みを示した。観光税財源が倍増する見込みを示した。観光税財源が倍増する見込みを示した。

観光税財源が倍増する見込みを示した。観光税財源が倍増する見込みを示した。観光税財源が倍増する見込みを示した。

私の視点

観光羅針盤

吉田 博詞

先月、4年ぶりにフランスの複数の旅行会社を訪問して、その際の、オンライン上の需要の急拡大を実感した。観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。

観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。

観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。

観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。

観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。

観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。観光庁は、全国のインバウンド向けアクティビティを600以上取りまとめることを目指している。

あの日が目に浮かぶ 音楽がある

著作権をまもることは、未来に音楽をつないでいくこと

記憶に残るメロディや歌詞。心をふるわす音楽に出会った喜び。

音楽とその想いが未来へずっとつながるように。

私たちJASRACは、著作権をまもり、音楽を生み出す作詞家・作曲家などの創作活動をこれからもしっかりと支えていきます。

一般社団法人 日本音楽著作権協会
〒151-8540 東京都渋谷区上原3-6-12 TEL (03) 3481-2121 (大代表)
www.jasrac.or.jp